

グローバル競争の幕開け

国産パスタ



雨風強まる

発効となり、19年はグローバル時代の幕開けとなる。日欧EPAでは現行30円/kgのパスタ関税は11年かけて撤廃、原料デュラムのマークアップも実質的撤廃となる。米国産原料の取り扱い

いが当面の課題だが、国産メーカーは品質・コスト面で輸入品との熾烈な競争への対応が求められる。

1-9月の国産パスタ生産量は約10万t。前年並みを維持している。業務用ロングが持ち直し、輸入品の在庫調整で国産品のシェアは前年比2.5%改善の49%台に回復した。年末にTPP11、2月には日欧EPAの

国産パスタ生産量推移

